

哲学委員会 哲学・倫理・宗教教育分科会（第24期）議事録

日 時 平成29年12月9日（土）10時30分～11時30分

会 場 日本学術会議5-C（2）会議室

出席者：河野哲也（委員長）、森田美芽（副委員長）、和泉ちえ、氣多雅子、下田正弘、土井健司、藤原聖子、野家啓一、木村敏明（幹事）

審議事項

1. 分科会役員の設定

委員長に河野哲也、副委員長に森田美芽、幹事に木村敏明がそれぞれ選任された。

2. 24期の活動方針について

本分科会で今期とりあげるべき課題について議論をおこなった。具体的にとりあげられた課題は以下の通り。

・高等教育について以下の二点が課題としてとりあげられた。

- ①「哲学教育の参照基準」の検証、改善、広報。参照基準を苦勞して作ったが、どれくらい知られているか、どれくらい使いやすいものであるか改めて検討する。
 - ②大学院教育について。視野が広くオリジナリティのある優れた研究者をいかに育てるか、教育内容や査読など評価の方法も含めた提言をおこなう。また、博士終了後のキャリアとして大学教員以外の職種を開拓することも必要である。これは研究成果の社会貢献という意味もある。
- ・中等教育に関しては、考える力の育成や言語運用能力の涵養のため、高校や中学のカリキュラムや新「大学入学共通テスト」に対する提言の検討があげられた。
- ・その他、多文化・多宗教社会における教育のあり方についても今後検討を進めていくことが必要との意見があった。

3. 今後の日程について

今後の分科会開催日程について、今年度中春休み頃に一度分科会を開催し、そこで来年度の具体的活動計画を立てることが決定された。